

平成29年6月

皆様

御 礼

拝啓

暑さも厳しさを増してまいりましたが、皆様にはお変わりなくご清祥のことと存じます。

先日はアフリカ眼科を支援する会（AOSA）の活動にご理解とご援助を頂き誠にありがとうございました。本年6月7日に出発し、モザンビーク共和国北部のペンバでアイキャンプ活動を行い、6月16日に無事帰国しました。今回の活動では、昨年と同様にモザンビーク眼科医2名を我々の活動に同行してもらい、交流を深め技術指導を致しました。また、ザンビアから眼科医1名を招待し、近隣の国の眼科医との交流を行いました。モザンビーク共和国保健省の熱心なバックアップもあり、158人の白内障手術を無事終了しました。モザンビーク共和国では眼科医が極めて少ないため、たくさんの失明患者に到底対応できません。今後さらに現地と連絡を取りながら活動を発展させていく予定ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

アフリカ眼科医療を支援する会
理事長 内藤 毅

